



大人としての決意を新たに

1 / 8

平成24年登別市成人祭

1月8日(日)、市民会館で『平成24年登別市成人祭』(市・同実行委員会主催)が行われました。

今年の新成人は、平成3年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた男性350人と女性237人の計587人。成人祭には、このうち、男女合わせて343人が出席しました。

式典で、小笠原市長が「家族や友人、同僚などとの結びつきを大切にしながら、これからの人生を歩んでいただきたい」と式辞を述べた後、新成人を代表し、橋本伸和さんと山田祐理さんが「あらゆる困難を乗り越え、互いに協力し、平和で明るいまちづくりに努めます」「自然に恵まれたふるさと登別を愛し、よりよき市民となるよう努めます」と、力強く決意を述べました。新成人たちは、久しぶりに再会した友人と談笑したり、記念写真を撮り合ったり、和やかに旧交を温めていました。



▲空高くきねを放り投げるつき手たち

福を祈願し きねが空を舞う

元目縁起もちつき

1月1日(日)、泉源公園(登別温泉町)で『元目縁起もちつき』(社登別観光協会主催)が行われ、登別温泉に宿泊していた観光客や市民など約500人でにぎわいました。

披露された『子宝もちつき舞』は登別の名湯『子宝湯』にちなんで子宝安産や夫婦円満、家内安全を祈願するもの。4人のつき手が太鼓や笛のお囃子に合わせ、力強く餅をつき、空高く放り投げた杵が、見事に隣のつき手に渡ると、観客からは拍手が起りました。餅はお汁粉にして振る舞われ、訪れた人たちの体を温めていました。

1 / 1